

|    |           |
|----|-----------|
| 年度 | 平成16～18年度 |
|----|-----------|

**基本目的 1 市民が快適に暮らせるまちになる**

**行動目標 1-2 生活環境を阻害する要因が減少する**

(所管課名 環境部環境保全課)

**任務** 四日市の生活環境がよくなる

**任務の成果・活動指標の推移**

**大気、水質の主要項目環境基準達成地点率**

|       |       |
|-------|-------|
| H14実績 | 44.4% |
| H15実績 | 72.2% |
| H16実績 | 76.5% |
| H17見込 | 50.0% |
| H18目標 | 78.9% |

大気、水質の主要項目環境基準達成地点率



**指標の説明**

大気、水質の環境基準の主要項目である、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量の監視地点での環境基準達成地点率

**任務に対する評価**

**これまでの取組と成果、手段の妥当性**

**平成16～17年度**

平成16年度に大気測定局全局で環境基準を達成することができたが、17年度においてはNOX等について基準達成が厳しい状況にある。また、一般環境大気測定局3局を廃止し、市内の大気環境の効率的な把握に努めた。平成17年度には、国道1号沿いに自動車排出ガス測定局を設置し、監視体制の充実に努めた。なお、17年度に三重県から楠測定局の移管を受け、新市の大気環境の状況を一体的に把握できるよう努めた。

地球温暖化関連では、平成16年度に四日市地球温暖化対策地域協議会を設立し、市民や事業者との協働を始めた。平成17年度は、同協議会や県、事業者と協働し、新たにパーク&バスライド事業の取り組みを始めた。また、家庭用太陽光発電施設設置補助により、平成16・17年度とも、当初見込通り約100Kw分の発電を確保することができた。

環境教育事業の推進では、国際社会の一員としての責任から地球的視点に立った環境教育を進めるために、小学校高学年を対象に外国人との交流等を通して、環境について学習する機会を設け、83人の参加者を得て好評であった。また、新規事業の「身近な自然調べ」、「こどもエコまつり」への参加も堅調で概ね目標を達成した。

**平成18年度**

大気水質関連では、引き続き、大気、水質環境等の把握に努めるとともに、事業所への立入調査を実施し、規制基準適合状況を把握するとともに、必要な指導を行う。

地球温暖化関連では、引き続きパーク&バスライドの取り組みを進める。また、家庭での新エネルギー導入を促進するほか、新エネルギービジョンを策定し、各種新エネルギーに対する市の方針を明らかにする。

環境学習関連では、新規に実験観察型「よんかんセミナー」を加えるとともに、体験学習等に魅力あるメニューを提示して事業参加者、来館者の増加に努めていく。

**これからの課題、施策等展開の方向性**

大気、水質、地球温暖化などの面においても自動車や生活系の環境問題への対策が重点的に必要である。こうした問題は個々人のライフスタイルにまで立ち入ることが必要であり、市民自らの取り組みを誘導できるような事業展開を図っていく。